

平成23年度 清明小学校グランドデザイン

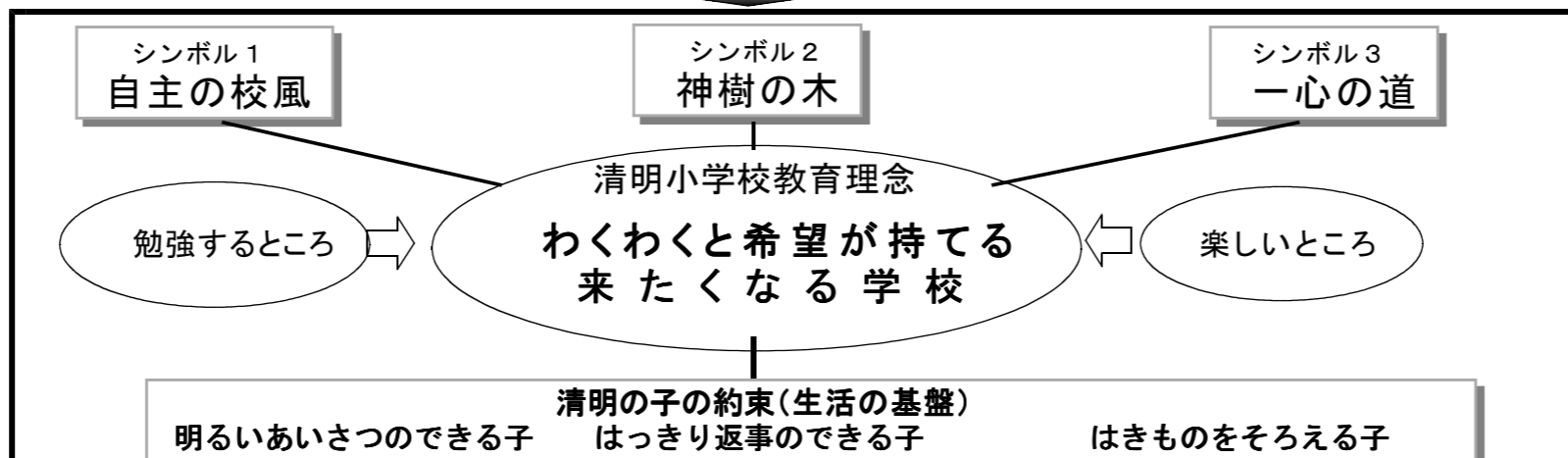
学校教育目標

「清く明るく 豊かな心で 進んで学ぶ 子どもの育成」

こころもからだたくましい子ども 友だちにしんせつにできる子ども しっかり学習できる子ども

【学校長の願い】

「清明（校名）」が学校目標であり、地域の願いである。子どもの知りたい欲求に応え、「勉強するところ」と「楽しいところ」が一体化してきたとき、学力も向上する。授業・遊び全てが楽しい、夢のある学校生活ができるようにしたい。



【清明小学校で願う「めざす子どもの姿」(具体目標)】

- ① シンボル1：自主
豊かなかわりやさまざまな体験を通して、自分で気づき、よく考えて行動できる子ども
- ② シンボル2：豊かさ
お互いに認め合う中で自分に自信を持ち、友とのかかわり合いを大切にして、共に学習や生活を楽しむことができる子ども
- ③ シンボル3：学び
自ら見つけた課題を、友と考えをつなぎ合いながら追究し、「分かった」「できた」という楽しさや学びの高まりを実感できる子ども

【本年度の重点目標】
スローガン
『つなぐ』、『伝える』、質を高める『カイゼン』を
～豊かに表現する個の確立を支援する「ずく」ある教師～

- ① 豊かな体験活動を通して、自己を表現できる場がある学校生活づくり(自主)
- ② 友とのかかわり合いを深め、共に学ぶ楽しさを感じる集団づくり(豊かさ)
- ① 「つかむ」「つなぐ」「伝える」中で豊かに自分の考えを表現できる子どもの育成(学び)

重点活動① 【自主】
【教育活動領域】

- 地域の特性(商店街・上田城跡)、自然(風土)、歴史、人を核にして、児童が課題(感謝・貢献・発展・共生等)を持ち、地域のよさや人の生き方を継続的・発展的・体験的に学ぶ学習の推進
 - 教科(生活科・社会科・理科等)
 - 総合的な学習の時間
 - 縦割り班による太郎山登山・奉仕活動
 - 児童会(なかよし集会)、町別子ども会
- 清明小のよさ、受け継ぐべきもの(精神・姿・施設)を意識した主体的・自主的な生活づくりや児童会活動
 - 3つの約束「あいさつ」「靴」「返事」
 - 3つのモットー・無言清掃
 - 児童会月目標の設定と取り組み
- 五感を刺激する価値ある体験を取り入れた学習
 - 学年畑・花壇づくり、学校の環境を生かした学習活動の工夫や取り組み
 - 全校体育や遊びでの積極的な体力づくり
 - 感じるからだづくり
- 自分に自信を持って豊に表現し、互いのよさに学び合う場づくり
 - 個々の学びの足跡が生きる音楽会・運動会

【学校運営領域】

- 地域の特性、自然を核にし、継続的・発展的な取り組みができる生活科や総合的な学習の体験活動の計画立案と見通しをもった運営
- 個々の取り組みのよさや意欲・技能の高まりにつながる外部講師・地域の人材の活用と発展
- 全職員で個々の育ちをとらえ、その後の指導に生かしていく音楽会・運動会と3学期の1年間のまとめの評価と支援
- 活動の意味やねらい、活動の成果が伝わり、やりがいを感じられる教育活動の発信(学校・学年だより、マスコミの活用)
- 朝の活動、業間及び放課後の遊びの時間の保障
- 子どもの安心・安全を守り、共に子どもを育てる地域との協働・連携の強化
 - 子どもとつながる安パト隊
 - 自治会、公民館との連携
 - 学校関係者評価

重点活動③【学び】
【教育活動領域】

- 確かな力を付ける一時間の授業の確立
 - 個の追究を支える必要感のある学習問題と学習課題の設定
 - 個が考え追究する学習過程と互いに考えをつなげ合う場の設定<言語活動の充実>
 - 振り返り(学びや成長の実感、次時の課題)
 - 板書の構造化・学習カードの活用
 - 定着(繰り返し・練習ドリル・応用)
 - 書く力を育む継続的な実践的な指導
- 個の学びの充実を図るITや教科担任制の充実
 - 小学校担任の主体性を生かす中学数学専科TT
 - 個の考えのよさを生かす算数少人数指導・TT
 - 学年内交換授業の拡大
- 重層的な学力観を基盤に、教科等で培った基礎的な学力が活かされ融合する総合の時間との関連指導
- 新学習指導要領に沿った本格実施1年目の取り組み
- 朝の「ドリル学習」や家庭学習、算数検定や漢字検定等の実践・継続による学力向上への取り組み
- 「基本的な生活能力」の基盤となる食生活・生活リズム等の確立

【学校運営領域】

- 教材研究・教材の開発、課題を明確にした授業づくり、自己研修課題の共有
- 教科等で培った基礎的な学力が活かされる総合的な学習の時間と「表現力」や「本物を感じとる力」等が、生活・行事へも生かされるような実践
- 中学の数学担当による算数専科授業と子どもや互いの取り組みを理解し合う二中との連携及び初任者研修の充実
- 職員の専門性を生かし、個々の学びの充実を目指したTTや教科担任制による指導の充実
- 食生活・生活リズム等についてのPTAとの協力・食育の一層の推進、学校保健委員会の充実
- 達成可能な中間・総括目標の設定と具体的な手だてを決めだしての実践、中間評価・総括評価における伸びや課題の明確化、運営や指導の改善
- 朝ドリルの時間の設定と部会内での内容・方法等の情報交換・指導の充実(NRT・CRT結果や学級等の課題に応じた取り組み)

重点活動②【豊かさ】

【教育活動領域】

- どの子にも自分の居所があり、友のよさやともに学ぶ楽しさを感じられる授業や学級・生活づくり
- 「人を人として大事にする」人権同和教育・道徳の推進
 - 本校の児童の姿や育てたい力(個の確立)の視点から見た人権同和教育の推進
 - 「命の大切さ」「自他の存在の大切さ」「人の生き方や行為のよさ」に気づく(道徳教育)
- 相互理解やかかわりを深める新たな交流教育の構築
 - 双方向性のある交流活動・たんぼぼ・ひまわりさんと他学級との交流から理解へ
- 全校や地域に働きかける児童会活動や縦割り班活動
 - 地域施設へ車椅子を贈るためのアルミ缶集め・地域施設訪問交流会・仲よし昼食会 児童活動の活性化
 - 太郎山登山・全校で仲良く遊ぼう会や全校草取りによる交流・上田公園落ち葉清掃による交流

【学校運営領域】

- 個々の児童理解をもとにした個に応じた見通しのある継続的な支援
 - 主体性をもった特別支援学級の運営・普通学級に在籍する児童への支援
 - 心の相談員・特別支援教育支援員の効果的な配置と活用
 - 外部専門機関、幼保との連携のあり方
- 他とのかかわりを深め、自他のよさに気づき、共に学ぶよさを感じられる人権同和教育の推進
- 子ども一人一人を生かす柔軟な学級経営・学年経営<Q-Uの活用>
- 「命の大切さ」「自他の存在の大切さ」「人の生き方や行為のよさ」に気づく道徳教育の推進
- 思いやりやかかわり、奉仕の心・福祉の心を育てる児童会の運営
- 子ども同士の豊かなかわりを保障し、全校で協働して取り組める活動の位置付け

全ての活動をささえるもの

【子どもの姿】

- 子どもたちのもつ明るさ・素直さ、他を受け入れる柔らかさ・温かさ
- 学ぶこと追究することに喜びを見出し、主体的に活動を生み出す意欲や力

【教師集団】

- 清明に誇りを持ち、自主の校風を教師自らが率先し、気づき示す教師集団
- 温かな目で子どもをとらえ、全職員で助け合い高め合って子どもを育てる気風

【保護者・地域】

- 地域の学校としての愛着や中心校として誇りをもって協力する保護者・地域・施設
- 子どもの健やかな育ちや安全を願い、見守り支える案パト隊員・地域・行政